

TOPICS

河川協力団体として指定証伝達



国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所は5月16日県内の河川協力団体として、ふるさとの川・荒川づくり協議会を含む5団体に指定証が伝達されました。平成26年6月水防法と河川法の一部改正に合わせて創設された制度です。

河川を管理する行政機関と一緒に、河川清掃や環境調査、河川環境の保全活動に取り組みます。

当協議会は地域の実情に応じた河川管理の充実を目的に、この春から活動を開始します。

平成26年度主催・共催事業報告

あらかわ自然楽校

荒川自然学習会 荒川・桜づつみ公園
7月26日(土) 8月2日(土)



川に親しみ、生き物を観察して、写真に残そう!

夏休み中の小学生と保護者ら約50名が参加した。

子どもたちは網とバケツを手に川に入り熱心に水生生物を探した。当会員が生物の種類や古荒川の状態を分かり易く解説した。今年は初めて福島キヤノンさんと提携し「カメラ教室」も実施され、子どもたちは見つけた水生生物を真剣に写真に残していた。

探訪会

6月14日(土)

佐原の歴史と義民太郎右衛門

あづま総合運動公園北側交差点に「義民終焉の地の碑」が立っている。地域の歴史を正しく知るため、日本考古学協会柴田俊彰氏を講師として、パワーポイントを使用し、説明を受けた後、義民霊堂、太郎右衛門夫妻の墓、屋敷跡などを見学して理解を深めた。義民霊堂の扉は、いつもは閉じているが特別の配慮で開けて頂いた。



10月4日(土)

荒川の秘境天沼のへつり探訪会

今回は17名が参加した。荒川資料室を出発して、荒川第5砂防堰堤～第1堰堤上流に下り、数度の川渡りなど、安全な場所を選んで進む。見所は、岩の上に丸い石が乗っている奇石「さざれ石」と、岩を切り開いて流れている「天沼のへつり」。最後は急坂を息を切らして登り、土湯温泉で昼食休憩の後、定期バスで戻った。



荒川グリーンアップ大作戦

5月31日(土) 10月18日(土)

平成26年5月31日(土)と10月18日(土)の早朝、荒川大暗渠から阿武隈川合流付近までのほぼ全川にわたってゴミ拾いを行い、一部地区では草刈りを行いました。市民や企業・会社、自衛隊など総勢1500人の多くの人たちの参加を得てきれいにすることができました。

素晴らしい吾妻山と荒川を眺めながら、皆と早朝の活動に汗を流し気持ち良いひと時を過ごすことができました。



荒川フェスティバル

5月10日(土)

吉井田町内会連合会、ふるさとの川・荒川づくり協議会などの実行委員会主催で、5月10日荒川桜づつみ河川公園及び荒川河川敷において、荒川フェスティバルを実施した。

吉井田小学校のマーチングバンド、芸能発表会、フリーマーケットなどいろいろなイベントで楽しみました。

荒川づくり協議会では、凧作り教室を実施し多くの子供たちに凧作りを教え、空高く舞い上がる凧に子供たちの喜びの聲が上っていました。



視察交流研修会

第一回(喜多方市) 6月10日(火)

「喜多方市清水ネットワークの活動」の蛭川靖宏様から自然と寄り添って「いのちの水」を守り続けていかなければならないということ。「志ぐれ亭」の志村和子様から身をもって学んだ貴重な体験を伝承していかなければならないということ。「築家工房」の高橋政巳様からは何気なく使っている文字にも奥深い歴史があるということ。それぞれの方々が心一つにして喜多方を育てている姿に感動しました。



第二回(摺上川の利水治水)9月9日(火)

摺上川ダムは、多目的ダムと言うことは知っていましたが、摺上発電所で発電された電力がダム施設で直接使用されていることを知り認識を新たにしました。また初めて監査廊に入れて頂き、ダムの底まで行くことが出来たのが今回の研修の最大の収穫でした。

すりかみ浄水場では、送水管の大きさに驚きました。



阿武隈川のヨシ刈り作業に参加しました

国土交通省福島河川国道事務所、福島市、荒川づくり協議会などの各団体で、渡利地区内の阿武隈川河川敷に生育しているヨシの刈り取り作業を、2月7日午前9時より実施しました。荒川協議会より13人参加しさわやかな川風を満喫しました。このヨシは、民家園の屋根の葺き替えに利用します。

NEWS

荒川4年連続水質日本一

国土交通省は国管理の全国163河川で平成25年実施した水質調査結果について7月22日発表した。福島市を流れる荒川が4年連続で日本一に輝いた。

調査では水の汚れを示す生物化学的酸素要求量(BOD)の年間平均値を測定、1リットル当たり0.5ミリグラム以下を「最も良好」として荒川を含め全国10河川を選んだ。同じ数値で1位となったのは東北では荒川だけだった。

荒川づくり協議会は17年間にわたり、草刈りやゴミ拾い、土木遺産の保護に取り組む地道な活動を継続して実施してきたことが成果と思う。

助成金に感謝

今年度、次の3団体様より活動助成金をいただきました。森林教育学習の備品購入、広報誌発行、環境保全活動に有効に使わせていただきます。会員一同感謝し、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

- ◆(財)福島県林業会館フォレスト助成事業
- ◆福島信用金庫助成事業
- ◆JA新ふくしま環境団体助成事業

